

『クスッと笑えて腑に落ちる 著作権法ガイドンス』の著者直伝

著作権のポイント

－ありがちな誤解と権利処理の留意点－

白鳥綱重

Ⅰ 限目： 著作権についてのありがちな「誤解」？

著作権と知財の関係

- * 著作権は、知財の代表例の一つ

著作権と産業財産権

- * 「コンテンツ」？
- * 著作権は、思想・感情の創作的な表現物を保護
- * 著作権は自動発生（無方式主義）
- * 相対的独占権と絶対的独占権

ありがちな「誤解」？

- * 著作権法は規制法（？）
- * 著作権法により、「パクリ」は全面禁止（？）
- * 著作権は、コスト負担者が取得する権利（？）
- * タダで入手できたから、自由に利用できる（？）
- * 私的使用である限り、コピーは自由（？）

	<p>著書名：『クスッと笑えて腑に落ちる 著作権法ガイドンス』</p> <p>著 者：白鳥 綱重</p> <p>出版社：一般社団法人 発明推進協会</p> <p>発行日：2022年2月22日</p> <p>定 価：2,970円</p> <p>* 別紙：月刊『発明』2022年2月号（29-31頁）に紹介インタビュー記事があります！</p>
--	---

『クスッと笑えて腑に落ちる 著作権法ガイドンス』の著者直伝

著作権のポイント

－ありがちな誤解と権利処理の留意点－

白鳥綱重

2 限目：「誤解」？の解きほぐし

著作権法は規制法？

- * 著作権法1条：著作者の権利は「私人」の権利
- * 権利の「保護」と公正な「利用」のバランスが大切

「パクリ」は全面禁止？

- * アイデア自体は、自由に利用できる
- * 保護期間が過ぎていれば、表現物であっても、自由に利用できる

カネを出した人に著作権？


- * 実際に作った人（創作者）が「著作者」＝権利者

タダで入手できたから、自由に利用してよい？

- * 無料で入手できたとしても、著作権が消えているわけではない

私的使用である限り、コピーは自由？

- * 利用できる条件は、法定されている（海賊版と知りながらのダウンロードは、認められない）

	<p>著書名：『クスッと笑えて腑に落ちる 著作権法ガイドンス』 著 者：白鳥 綱重 出版社：一般社団法人 発明推進協会 発行日：2022 年 2 月 22 日 定 価：2,970 円</p> <p>* 別紙：月刊『発明』2022 年 2 月号（29-31 頁）に 紹介インタビュー記事があります！</p>
---	--

『クスッと笑えて腑に落ちる 著作権法ガイドンス』の著者直伝

著作権のポイント

－ありがちな誤解と権利処理の留意点－

白鳥綱重

3 限目： 権利処理の留意点

権利の発生・権利者の見極め

- * 著作権は、著作物の「創作」とともに、自動的に発生
- * 「創作者」＝「著作者」＝「著作権者」が原則
- * 著作権法は、「著作権」だけを定めているわけではない

適切な権利処理に向けて

- * クリエーター（権利者）ならどうする？
→ 自分で管理／ 著作権等管理団体に委託
- * ユーザー（利用者）ならどうする？
→ 権利が及ぶ利用かどうかを見極める／ 権利者の見つけ方

利活用の方法

- * 譲渡
- * ライセンス（利用許諾）

契約上の留意点

- * 委託製作
- * 全部譲渡

	<p>著書名：『クスッと笑えて腑に落ちる 著作権法ガイドンス』 著 者：白鳥 綱重 出版社：一般社団法人 発明推進協会 発行日：2022 年 2 月 22 日 定 価：2,970 円</p> <p>* 別紙：月刊『発明』2022 年 2 月号（29-31 頁）に 紹介インタビュー記事があります！</p>
--	--

『クスッと笑えて腑に落ちる 著作権法ガイドンス』の著者直伝

著作権のポイント

—ありがちな誤解と権利処理の留意点—

白鳥綱重

4限目：著作権法を理解するために

「何が」保護される？

＊ 「著作物」が保護される

→ アイデアと表現は、スッキリ区別できる？ 保護されない「アイデア」の具体例は？

「誰が」保護される？

＊ 「著作者」が保護される（「創作者」＝「著作者」＝「著作権者」、がキホン）

→ どんな場合に「例外」が？

「何を」主張できる？

＊ 著作者は、「著作者人格権」と「著作権」を主張できる

→ どんな「支分権」がある？ 「公衆」というのは、誰のこと？

「どんな利用」なら許諾が要らないの？

＊ 権利制限規定に定める要件に当てはまる場合

→ それぞれの具体的な内容は？ そもそも、要件はバラバラ？

「いつまで」保護される？

＊ 著作権は、著作者の死後 70 年までが原則

→ 著作者が特定できない場合も「死後 70 年」？

「使いたい」「使ってもらいたい」の促進策は？


＊ 利活用の方法は、譲渡とライセンスが代表例

→ 権利者と利用者のマッチング方策は？ 著作権の「登録」制度は何のためにある？

どうなると「侵害」？侵害したらどうなる？

＊ 著作権が及ぶ利用を無許諾で行うと、「侵害」

→ 「侵害をやめろ」と言われたらどうする？ 物理的に関わっていなくても「侵害」になる？

	<p>著書名：『クスッと笑えて腑に落ちる 著作権法ガイドンス』</p> <p>著 者：白鳥 綱重</p> <p>出版社：一般社団法人 発明推進協会</p> <p>発行日：2022 年 2 月 22 日</p> <p>定 価：2,970 円</p> <p>＊ 別紙：月刊『発明』2022 年 2 月号（29-31 頁）に 紹介インタビュー記事があります！</p>
---	--